



香川県立保健医療大学広報誌の発刊に寄せて



学長

湯浅 繁一

本学は、高松市の東部、牟礼町の志度湾に面した自然豊かな小高い丘の上にあり、平成16年4月に前身の香川県立医療短期大学を改め、新たに4年制大学として開学いたしました。保健医療学部1学部に看護学科と臨床検査学科2学科の小さな大学ですが、短期大学時代も合わせますと、これまでに500名を超える看護師・保健師・助産師・臨床検査技師を県内外の保健医療現場に送り出してまいりました。

本学では、恵まれた自然環境と優秀な教育スタッフ、最先端の充実した実習設備など、他のどの大学にも引けをとらない教育環境を背景に、幅広い教養と生命を尊重する豊かな人間性ととも、高度な専門的知識と技術を有した、すなわち「心・知・技」を兼ね備えた医療人の養成を教育目標に掲げています。また、県立である本学は、地域の人々や関係機関との連携を強めるとともに、保健医療の現場や地域の課題と密接に関連した教育研究活動を推進し、その成果を地域に還元するなど、開かれた大学として地域の保健医療福祉の向上に寄与しています。

21世紀を迎え世界にも類を見ない速さで高齢化が進む我が国では、今や超高齢化社会をいかに健やかに、安全で安心して暮らせるかが、大きな社会問題となっています。また、科学技術の進歩とともに医療はますます高度専門化、複雑化し、医療に携わる人々には、これまで以上に高度な知識と技術が要求されています。本学では、このような背景を受け、また時代の要請に的確に応えるため、平成21年度に大学院修士課程の開設や看護学科の募集定員を現在の50名から70名に増員することなどを計画しており、大学の更なる発展を目指しています。

今回、広報誌の発刊を機に、1人でも多くの方に保健医療大学を知っていただくとともに、私どもの大学が地域の方々にとりましてより身近な大学となりますよう、これまで以上に努力してまいりたいと考えています。この広報誌を何気なく手に取られた方に、ほんの少しの元気が与えられるような、そして次回の発刊が楽しみに待たれるような、そのような広報誌を目指してまいりますので、これからは是非ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

入学式

決意新たに「心・知・技」を兼ね備えた医療人になる!



4月7日 あいにくの天気ではありましたが、私達77名(看護科50名、臨床検査学科18名、編入生9名)は無事入学することができました。入学式では学籍番号順に名前が呼ばれ、大きな声で返事をするので、私達も本学の学生になれたことを実感し、嬉しく思いました。また、学長をはじめ来賓の方々や先輩から激励の言葉をいただき、身がひきしまる思いでした。

会場の外では、ブラスバンドサークルの歓迎演奏が響き、身体の中に大きな力が湧いてくるように感じました。これから4年間をともに過ごす仲間と、お互い切磋琢磨しながら充実した大学生活を送っていきたいと思いました。

臨床検査学科 馬場 千枝/山下 未来



宿泊研修

チーム医療に必要なコミュニケーション



5月30日(金)、31日(土)、休暇村讃岐五色台において、新入生を対象に宿泊研修がおこなわれました。

学生企画のレクリエーション、うどん作り、少人数によるコミュニケーション体験学習、学外講師を招いての講演などをおこない、看護学科生、臨床検査学科生、教員間の交流を深めるとともに、チーム医療に必要なコミュニケーションのあり方を学びました。

研修終了時におこなったアンケートでは、学生の満足度はきわめて高いものでした。



アンケート結果

- 研修の目的は達成できた **97%**
- コミュニケーション体験学習は満足 **93%**
- メンバーに受け入れられた **91%**
- 学生企画の交流会やうどん作りに満足 **88%**
- 日程場所に満足 **72%**

反省点

日程をもっと早く
各項目に時間をかけすぎなど

オープンキャンパス

本学のことを知ってください



7月21日(月/海の日)、オープンキャンパスが開かれました。大講義室にて全体の説明の後、看護学科・臨床検査学科ごとに複数のグループに分かれて実習室の見学や実演・説明など、最後に在学生や教員との個別相談がおこなわれました。県内外より高校生215名、保護者103名もの多数のご参加をいただき、ありがとうございました。来年度も同様に実施する予定です。また、10月18日(土)におこなわれる橄欖祭(大学祭)においても、在学生や教員による学内案内や説明をおこないますので、本学に興味のある方は、ぜひ一度お越しください。



今回参加された方々が1人でも多く本学を志望されることを期待しています。

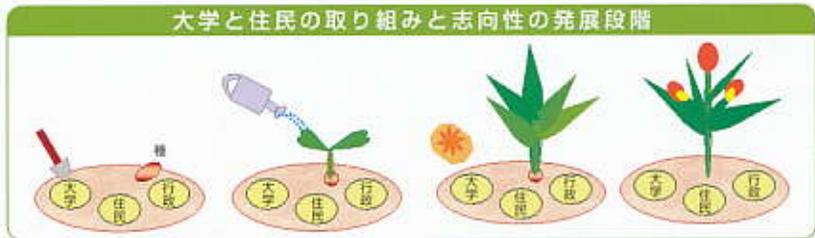
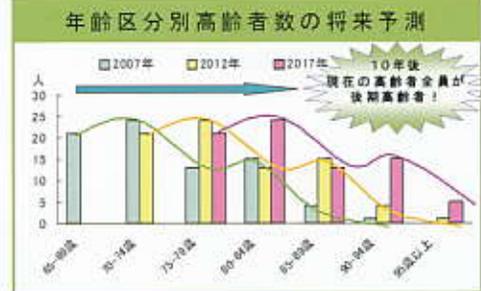
地域が動く!

住民とともに創る研究

看護学科 地域在宅精神看護学 合田 加代子



地域在宅精神看護学分野では、戸建住宅団地を対象に、2005年から住民・大学・行政によるプロジェクトチームを作り、高齢になっても安心して暮らせる地域づくりを目指した実践研究に取り組んでいます。およそ40年前に造成された新興団地では、現在同世代の人々が一斉に高齢期を迎えていることや家族規模の縮小、地縁や住民交流の希薄さという戸建団地特有の課題を有しています。そこで、プロジェクトでは「一人も孤独にさせない地域にしていきたい!」という気持ちをついに、団地の10年先を見据えた取り組みを開始しました。現在3年目になりますが、この間には「くらしを考える会」などの自主組織が結成され、高齢者の見守りや声かけ訪問、「おしゃべり会」と称した集う場づくりなどの活動が始まり、団地が少しずつ動き始めたことを実感しています。紆余曲折ありましたが、団地の方々とともに何度も話し合い、実態把握・分析・実施・評価の循環プロセスを大切に進めて来た成果ではないかと思われまます。今後も住民の皆さんとのパートナーシップを大切にしながら、新興団地における共助の文化創出モデル構築を目指して継続していきたいと考えています。



教職員紹介



副学長
横川 絹恵

専門分野 老年看護学 **研究分野** 老年看護学における教育方法・教材研究

趣味 美術鑑賞、旅行。ヨーロッパの美術館巡りを計画し、地中海から北欧、中欧と進み、次はベルギーと思いつつ頓挫し早や9年。元気なうちにぜひ実現したい夢です。

一言メッセージ 年を重ね、やはり看護大好き人間だと実感しています。看護教育において、最良の師であり、人生の先輩である高齢者の方々との出会いのなかで、その皺に刻まれた歴史に尊敬と感動を、また温かい笑顔にいっぱい癒されています。これからも学生と共に、高齢者の方々の笑顔の瞬間に少しでも多く触れることのできるような看護を…と願っています。人間が好き、高齢者が好きな方、一緒に学びましょう。



学生部長
南 純三郎

専門分野 微生物学 **研究分野** 細菌毒素に関する研究

一言メッセージ 学生さんに楽しくて、一生懸命で、達成感のある大学生活をすごして欲しいと思います。静かで、自然に囲まれた本大学は魅力にあふれています。学生部長として、大学生活を応援します。



図書館長
松村 恵子

専門分野 母性看護学・助産学・生涯発達学

研究分野 1.母性意識の構造と発達
2.助産師のキャリア発達生涯学習の動機づけ要因
3.生涯発達と性役割
4.専門職者の性アイデンティティー
5.母性の育児ストレスの実証・乳幼児の子育て支援システムの開発など

一言メッセージ モットーは<未知の可能性を秘めた生命力を最大限に発揮できる人に!>です。

サークル紹介

バレーボールサークル

私たちバレーボールサークルは、約30名ぐらいで、週2回活動しています。みんな忙しく、なかなか全員が集まることはできませんが、楽しくバレーボールをしています。練習試合や大会にも参加しています。また、新入生歓迎会やピクニック、忘年会など、バレーボール以外でも親睦を深め、学年関係なく仲良く活動しています。

看護学科2年 片平 紗矢香



健康メモ

本当は怖い軽いタバコの嘘

タバコは体に悪い!!でも軽いタバコなら大丈夫? —— 看護学科 佐藤 功

タバコは体に悪い、そんなの知っている。でもやめられない、そのうちやめよう、だから体のことを思って少しでも軽いタバコにしている、マイルドにした、1mgの一番軽いのにした。これで安心と思う方はいらっしゃいませんか。

軽いタバコは決して軽くはありません。軽いタバコには巧妙な落とし穴、つまり嘘があります。それはフィルターにあげられた穴です。ミシン目のような小さな穴、これがフィルターを一周、二周、いやいや多ければ五周から六周もあいています。つまり同じ銘柄であれば、ニコチン・タールの含有量が少ないほど穴の面積が大きくなっています。

このからくりは以下の通りです。世界的にニコチン・タールの測定法が決められています。機械が煙を吸う時に、フィルターの穴から空気が入り、ニコチン・タールが薄まってしまいます。それが一つ。もう一つは、機械は1分間に2秒間、35mlという、3cmちょっとの立方体の体積分しか吸いません。つまりわずかな量をフィルターの穴を塞がずに吸っている、ということになります。でも普通の人はフィルターの穴を塞いで、深々と多量の煙を、しかも短時間の内に吸い込んでしまいます。

タール10mgのタバコを1mgのものに変えた、以前の10分の1だ、一箱吸っても前のタバコの2本しか吸っていない、とお考えの方が少なくありません。ところが吸う本数が同じなら、ニコチン・タールの摂取量はほぼ同じになります。煙を吸った時にのどの奥に来る刺激はいろいろな添加物によるもので、タバコの強さとは違います。

ぜひ一度、同じ銘柄のシリーズのものを比べて見て下さい。軽いタバコは決して軽くはありません。



今後の
行事予定

10月18日(土) 榎横祭(大学祭) 10:00~16:00

テーマ「開花～ひとり一人の芽を～」
プチ健康診断やミニオープンキャンパスなど

11月7日(金) 公開講座「健やかに生きよう」 13:30~16:00

講座1「知っておこう!最近増えた卵巣がん」
講座2「メタボリックシンドロームの対策について」

入学試験

9月23日(火:秋分の日) 編入試験(看護学科) / 11月22日(土) 推薦入試(看護学科・臨床検査学科)
2月25日(水) 一般前期入試(看護学科・臨床検査学科) / 3月12日(木) 一般後期入試(看護学科)



KAGAWA PREFECTURAL COLLEGE OF HEALTH SCIENCES

香川県立保健医療大学

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1
Tel: 087-870-1212 Fax: 087-870-1202
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp
ホームページ: <http://www.pref.kagawa.jp/daigaku/>



2008年10月1日発行

